

# 「ビッグデータ利活用セミナー」を開催

～ ビッグデータの新たなビジネスに向けて ～

総務省北陸総合通信局（局長 伊丹 俊八）は、平成25年12月5日（木）、金沢エクセルホテル東急において、北陸情報通信協議会（会長 永原 功 北陸経済連合会会長）及び一般社団法人石川県情報システム工業会（会長 饗庭 達也 三谷産業株式会社代表取締役社長）との共催により、「ビッグデータ利活用セミナー」を開催し、北陸3県のICT関連企業や地方自治体等から130名の参加がありました。

はじめに、主催者を代表して、饗庭石川県情報システム工業会会長から、「今回のセミナーは、当会の事業に関わるニーズの提供と言うよりも、少し将来を見据えたシーズの提供の場という意味で開催するものであり、次のビジネス展開の一端になれば幸い。」と挨拶がありました。

セミナーでは、東京大学 先端科学技術研究センターの稲田修一特任教授が「ビッグデータ活用でイノベーションを起こすには」と題して、①ビッグデータ活用の本質とは②ビッグデータの活用事例とその本質③ビッグデータ活用とマネジメント④ビッグデータ活用によるイノベーションについて、株式会社インテック ユビキタスプラットフォーム事業開発室の堀雅和室長が「インテックが考えるビッグデータの利活用について」と題して、①ビッグデータの概念②ビッグデータをどのように捉えるか③インテックの取り組みについて、講演されました。

講演後は、各講師との質疑もなされ、参加者はビッグデータの利活用による新たなビジネス展開の取り組みに向けて理解を深めました。



一般社団法人石川県情報システム工業会  
饗庭会長の挨拶



盛況だったセミナー会場



東京大学先端科学技術研究センター  
稲田特任教授の講演



株式会社インテック  
堀室長の講演